



## まえおき

ぼたぼた、ぼたぼた……水滴が顔に落ち、眠る少女を目覚めさせる。彼女が目を開けると、目の前のラグーナは濁った光景だった。黒潮がいつからかすぐそばに迫り、ラグーナの人々は叫び、泣き叫び、道端に散らばる声骸が手も足も出ない人々を虐殺している。

「ここは……ラグーナ？……どうしてこんなことに？」フィービーは杖を取り出し、民衆を掩護しながら撤退させつつ、狂った声骸を撃つ。

「みんな、早く船に乗って逃げて！」啓明の鏡で二匹のウィトルムタンサーを砕いた後、フィービーはラグーナの岸边に堅く立つ。何匹かの冥淵の守り手が黒潮から湧き出てフィービーの背後に飛びかかり、目の前の少女に致命の一撃を与えようとする。

「浄化の光!!」聖禱赦罪の光が冥淵の守り手を撃退し、フィービーは機を捉え、光の環で巨浪級声骸の躯体を固定、閃現で背後に回り、躍動するチャミュエルの星で一瞬にして冥淵の守り手を撃破する。

しかし声骸は黒潮から絶え間なく湧き出る。最強の共鳴者でも、力尽きる時が来る。何波かの声骸の衝撃を防いだ後、フィービーの力はますます弱まる。

「庇護、それが私の責務……」彼女は遠くの船舶を眺め、徐々に撤退する民衆を見つめ、少女が支える光幕はますます脆弱に、フィービーは半跪き。「みんな、絶対に逃げて……」

黒潮がフィービーにますます近づき、体が潮に飲み込まれる瞬間、少女はゆっくり目を閉じる。「願わくば光明が、あなたと共に……漂泊者さん……」

「民には救済と……繋ぎが必要だ……」

「一切の起源、亦は一切の終末。」「我々は門を開き、私と共に歩め、パレード・パラダイスへ……」

黒潮の翻騰中、低語が少女の耳元で絶え間なく響く。知らず知らずのうちに、フィービーは自分がそよ風のハイヴンに来たことに気づく。歳主の巨大な躯体がポリュペーモス・ウィンドミルズの砂浜に現れ、その子民を呼んでいる。

ラビ、ベニ、そしてバンブが地面に倒れ、息も絶え。

「……インペラトル？」少女は目の前の独角巨馬を見つめ、つぶやく。「インペラトル様、導いてください、救ってください!」

「私の祝福を受け、私と共に繋げよ、一切の雑念と希望を捨て、回帰せよ……私の懐へ……」独角巨馬は魚尾を揺らし、神聖な光輝が少女の姿を引きつける。ラビとベニ足掻きながら手を伸ばし、フィービーのスカートを掴もうとするが、少女は魔に魅了られたようにゆっくり魚尾白馬に向かう。

突然、青色琉璃の鳥の像がフィービーのまばゆく光っている。少女が再び我に返ると、自分はポリュペーモス・ウィンドミルズに戻り、ピザの日必ず来る場所、自分の秘密基地に戻っていた。

「ここ……そよ風のハイヴン？」彼女は目をこすり。「でも、今日はピザの日じゃないみたい……」



少女は恥ずかしげに襟を引っ張り

二つの小さな乳鳩が上着の隙間から飛び出す



私...私も漂泊者さんの肉棒見たい!

当然だよ。



フイービー!  
おっぱい見せてくれない?

あ! 漂泊者さん、  
あなたもここに?

胸、胸ですか?

続いて、決意したようにスカートを捲り上げ濡れたパンストがスカートの下で微かに震え少女の欲望を満たす誰かを求めているよう

これ…これが  
漂泊者さんの肉棒？

ゴロ

漂泊者は爽快にズボンを脱ぎ  
肉棒がフィービーの目の前で揺れ  
硬く「睨む」ように

初めて男性器を見る少女は少し困惑  
教会に生物の本はあるけど

目の前の肉棒は彼女の  
認識と違うみたい

私…どう助けよう…

フィービー、助けてくれる？

え？私…

含んで。

う…大きい

味も…濃厚

レロ

レロ

レロ

レロ



うお...も舐めて

ちゃんと面倒見てあげるね  
肉棒さん...

漂泊者さんの弱点  
ここだよね?

大丈夫、う、んぐ...

全部...射精して、  
私...全部受け止めるよ...

これが  
漂泊者さんの味...う...

これで、フィービーは  
漂泊者さんを助けられた?

フィービー!  
射精しそう...

う...んもう?!

ビク  
ビク

あ、  
うん

君の足、見せてくれる？

私の足？  
もちろん！  
え？なんて足を

フイービーの足  
ほんとに小さいね。

私：今日は一日中  
お風呂入ってないのに...

大丈夫。

これがフイービーの  
足裏の味か、下品な足だね。

下：下品な足...  
なんて...

フイービー、  
チンポ踏んでよ。

え？！

君の足の匂いで、  
チンポがまた硬くなった。

フイービー  
責任取るべきだろう？

クニゅ♡

ヒクッ♡

こう踏むの、  
ほんとに気持ちいい？

う！また跳ねた！

クニゅ♡

ヒクッ♡

ほんと！変態だよ！

う！漂泊者さん  
ほんとに変態！

フイービー！ゆっくの  
君の足、色っぽすぎ♡

キュブ♡

もしかして漂泊者さん  
変態？

それなら、漂泊者さんの精液  
全部絞り出して、正常に戻るよ？

射精して射精して...  
変態のもの全部出して  
元の姿に戻って！

待って！そんな遊び方、激し！

ふう！刺激的すぎ。  
フイービー、足コキも上手いなんて。

ビィル♡  
やあ！

ビィル♡

ビィル♡

トロオ...

ヴン♡

びく♡

びく♡

グちゅ♡

とろ...

ビィ♡

ヒクッ♡

ヒクッ♡



漂泊者さん…  
私も気持ちよくして！

私…もう我慢できない！

ふるん…

はっ

教士はテーブル前で腰を反らし  
恥ずかしげもなく恋人に自分の  
花園を晒す

そうだね  
この淫乱な教士ちゃんを  
満足させてやるよ。

淫乱な教士ちゃん?!  
私そんなじゃ…やあ

そう？

これだけじゃ、満足できない！

漂泊者さん…  
もつと強く愛して  
フィービーを…



んううん…

は…入ってくる…

肉棒…大きい…

あぁッ

これじゃ満足できないだろ？

や?! 漂泊者、  
待って…全部入った!

胸…両方一緒に  
なんて反則…

漂泊者さん…  
いきなりこんな激しく、私…

あぁッ

エエッ  
エエッ  
エエッ

んんん  
あぁッ  
あぁッ

んんん  
あぁッ  
あぁッ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

んんん  
あぁッ  
あぁッ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ





肉棒が花穴内で痙攣し  
最後の液体をほぼ射尽くす

肉棒が少女の体から離れる時  
濁った液体が肉壺から噴出

フィービーの双腿が二人の濁液で完全に沈む

「なんで漂泊者を家族にしないの？」  
ベニの言葉を思い出し、フィービーは  
あの特別なピザの日を思い出す。

あの日は、回遊の鯨事件を解決  
した祝いで、少女は勇気を振り  
絞り恋人に招待。こうして漂泊  
者とラビ、ベニ、バンブが集ま  
り、皆でピザを食べ、レナシー  
タの過去と教会の未来を語る。  
教士になってから、少女は友達  
とピザをシェアする機会が少な  
く、喜びをシェアする。



















